

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名 称	第4水辺公園秋川ふれあいランド
	所在地	あきる野市小川1343番地101
	所管課	商工観光部観光まちづくり推進課観光まちづくり推進係
指定管理者	名 称	一般社団法人あきる野市観光協会
	所在地	あきる野市館谷台16番地
	業務内容	1 施設の利用等に関すること ・施設利用の受付業務 ・器具類の貸出し業務 2 環境衛生協力費等の徴収に関すること ・施設利用者が施設内に自動車等を乗り入れる際の環境衛生協力費の徴収業務 ・器具類等の貸出し料の徴収業務 3 施設の維持管理に関すること ・施設の清掃業務 ・施設の軽微な修繕に関する業務 4 施設の利用促進を図るための企画実施に関すること ・各種イベントの支援業務 ・施設の見学に関する業務 ・広告・宣伝業務 ・施設利用者に対する意識調査の実施業務
ホームページURL		https://www.akirunokanko.com/
指 定 期 間		令和2年4月1日から令和7年3月31日まで

2 施設の利用状況等について

項 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
開館等日数（日）	236	248	298	299	298
利用者（来客者）数（人）	2,940	1,043	2,170	1,925	1,764
前年度比（人）	△546	△1,897	1,127	△245	△161
前年度比（％）	84.3	35.5	208.1	88.7	91.6
利用料金（売上）合計（千円）	4,720	5,100	3,722	4,049	3,879
前年度比（千円）	△523	380	△1,378	327	△170
前年度比（％）	90.0	108.1	73.0	108.8	95.8

※その他、必要に応じて、施設の性格ごとに項目を追加する。

3 施設の収支状況について

（単位：千円）

項 目		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収 入	指定管理料	0	0	0	0	0
	使用料収入（売上）	3,720	1,239	2,908	3,293	3,304
	自主事業収入	0	0	0	0	0
	その他の収入	1,001	3,862	813	756	575
	計	4,720	5,100	3,722	4,049	3,879
支 出	人件費	1,940	2,378	3,169	3,335	3,223
	維持管理経費	531	416	388	543	987

出	自主事業 関係経費	0	0	0	0	0
	その他の支出	1,086	156	166	198	151
	計	3,557	2,950	3,723	4,076	4,361
収支（収入－支出）		1,163	2,150	△1	△27	△482

※数字の単位未満は、四捨五入しているため、内訳の計が合計と一致しない場合がある。

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
・利用者に対し、口頭にて利用状況等を確認している。 ・電話等による予約の際には、新規利用者かリピーターかを確認するとともに、施設利用に当たっての要望などを確認している。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
・食材等を調達する際に、近くにスーパーやコンビニがなく不便との意見がある。 ・トイレへの落書き等の苦情が寄せられ、その都度清掃などを行い対応している。 ・施設の老朽化により各所に不具合が生じ苦情が寄せられているため、その都度対応している。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
・小中学校等の課外授業や地域事業に対して施設を貸出すなど、地域貢献に努めている。 ・施設近くに食材等の調達店舗がないため、電話対応時に地域のスーパーや商店といった食材等の配達サービス店舗を紹介するなど、利用者のサービス向上に努めている。 ・近隣に買い物できるお店がないため、園内に自動販売機の設置を市と協議し、検討していく。 ・農地止水用の堰があり水難事故が起りやすいため、救助資機材を常備し、安全対策を講じている。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
・業務に支障のない範囲で節電、節水に努めている。 ・受付時間終了までに利用者がいない場合は早めに終了するなど、人件費削減に努めている。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
これまで学生や会社などの団体のリピーターが多かったが、年々利用者が減少している状況である。利用者の大半が車で来園されることを踏まえ、バーベキュー道具の持ち込みを可能とすることを検討していく。そうすることで、サービスの向上が図られるとともに、バーベキュー道具を貸し出した場合と比較して、道具の清掃等の後片づけ作業が削減でき、最小限の従業員で運営ができる。 今後は利用者のニーズに合った公園機能や利用形態などの改革、サービスの改善、PR方法などを検討し、他施設との差別化を模索していく必要がある。 繁忙期には前年度と同様に事故防止に努め、遊泳の注意喚起の看板や救助用浮き輪・ライフジャケットの設置、監視員の配置を行うなどして安全対策を行った。今後も、事故防止と園内整備を徹底し、利用者一人一人を大切に運営していく。 物価・エネルギー価格等の高騰に対応すべく、経営改善に向けた取組を行っていく。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上
小中学校等の課外授業や地域事業に対して施設を貸し出すなど、地域貢献に積極的に取り組んでいる。また、必要に応じて食材等の配達サービス店舗を紹介するなど、サービス向上に努めている。
経費削減の取組
利用者に影響のない範囲で節電と節水に努め、経費削減が図られている。
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価
利用者が年々減少傾向となっていることから、今後は利用者のニーズに合わせてバーベキュー用品の持ち込みを可能とするなど、利用形態の見直しやサービスの充実を図る必要がある。また、SNS等を積極的に活用した情報発信を行い、利用者の拡大と収入確保につなげていくことを期待する。

総合評価	A
------	---

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。